学校番号	２０５

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	詳述公共　（実教出版）						
副教材等	最新図説公共　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学校で学習した知識を活用し思考して、グローバルな視野を持つ健全な民主的社会を構成する「市民」としての見識と、判断力を身に付けるという姿勢を持って学習に取り組んでほしい。具体的には、日常的に、プレゼンテーションなどの意見発表の機会に備えて、政治経済・国際社会のニュース（新聞・TV のニュース番組・インターネットニュース）をしっかりとチェックし自分で思考し、自己の考えを意見発表できる程度にまとめる習慣を身に付けようと心がけることを望みたい。

2　学習の到達目標

知識及び技能…現代の諸課題の解決策を考察するために必要とされる概念・知識・理論の理解を深めるために、諸資料から、民主的社会を担う「市民」として活動するために、必要となる情報を適切にかつ効果的にまとめる技能を身に付けること。
思考力・判断力・表現力…基本的原理（普遍的で汎用性のある理論や価値観）を活用して、「事実」を多面的・多角的に考察し公正に判断する力を身に付ける。また、グループ討論やディベートなどの活動を通して、合意形成のための議論の行い方や社会参画の方策を身に付ける。
学びに向かう力、人間性等…健全な民主主義社会の建設を担う「市民」としての人権感覚を磨くために、積極的かつ主体的に「公共」の学習に取組む姿勢を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	「公共」の授業で学習する「倫理」「政治」「経済」「国際社会」の学習の過程を通した知識及び技能の習得状況について評価する。	「公共」で学んだ知識及び技能を活用して、現代社会の課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等が身についているかどうかを評価する。	「公共」の知識及び技能の獲得や、思考力、判断力、表現力を身に付けることに向けた粘り強い取組みを行おうとする側面と、その取組みのなかで自らの学習を調整しようとする側面を評価する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	①　公共の扉(倫理分野)	1，生涯における青年期の意義. 2、青年期と自己形成の課題 3，職業生活と社会参加（働くことと社会参加の意義について学ぶ。） 4，現代社会と現代の生き方 5，ギリシアの思想（ソクラテス等古代ギリシア哲学） 6，宗教の教え（三大宗教の特徴など） 7，人間の尊重（中世末期から近代初期のヨーロッパで生まれた思想） 8，人間の尊重（カント・ヘーゲルは「自由」についてどう考えたか） 9，個人と社会（功利主義と社会主義） 10、主体性の確立（実存主義の思想） 11，他者の尊重（現代の思想） 12，公正な社会（思想家の考える公正とは？）	a:自らの体験などを振り返ることを通して自らを成長させる人間としての在り方・生き方について理解している。人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いに様々な立場を理解し高め合うことができる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取り組みや知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに、他者の価値観を尊重することができるような存在であることを理解している。自分自身が、自主的により良い公共的な空間作り出していこうとする自立した主体になることが自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結びつくことを理解している。 b:社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作ることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	定期考査・ノートやプリント	定期考査・ノートやプリント・プレゼンテーション	活動の様子の観察・プレゼンテーション

	②　よりよい社会の形成に参加する私たち(政治分野)	1、 日本国憲法の成立 2、 平和主義とわが国の安全 3、 基本的人権の保障 4、 新しい人権(環境権・知る権利・プライバシーの権利など) 5、 政治機構と国民生活 6、 人権保障と裁判所 7、 地方自治 8、 選挙と政党 9、 政治参加と世論	a:法や規範の意義及び役割などにかかわる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停・解決することなど通して、権利や自由が保障・実現され、社会の秩序が形成・維持されていることについて理解している。我が国の安全保障と防衛などにかかわる現実社会の事柄や課題を基に、日本国憲法の平和主義についての理解を深めることができるようにすることとともに、我が国の防衛に関する基本的な事項に触れながら、変化する国際情勢の中で、我が国の安全が世界平和の維持といかに不可分に関連しているかについて理解している。現実社会の諸課題にかかわる資料から自立した主体として活動するため必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取りまとめる力を身に付けている。 b:自立した主体として解決が求められる具体的な課題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠を持って表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などにかかわる現実社会の事柄や課題といった現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査・ノートやプリント	定期考査・ノートやプリント・プレゼンテーション・班別調べ学習・模擬裁判員裁判	活動の様子の観察・プレゼンテーション・班別調べ学習・模擬裁判員裁判

2	②　よりよい社会の形成に参加する私たち(経済分野)	1、 経済社会の形成と変容 (資本主義の成立･特徴及び現代の資本主義の課題) 2，市場のしくみ 3，現代の企業 4，経済成長と景気変動 5，金融機関の働き (金融市場のしくみや中央銀行の役割など) 6，政府の役割と財政･租税	a:雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどにかかわる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。現実社会の諸課題にかかわる資料から自立した主体として活動するため必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取りまとめる力を身に着けている。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な課題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠を持って表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実･安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどにかかわる現実社会の事柄や課題といった現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査･ノートやプリント	定期考査･ノートやプリント･プレゼンテーション･班別調べ学習･	活動の様子の観察･プレゼンテーション･班別調べ学習

	②　よりよい社会の形成に参加する私たち（経済分野）	1，日本経済の歩みと近年の課題 2、 中小企業と農業 3、 公害防止と環境保全 4、 消費者問題 5、 労働問題と雇用 6、 社会保障	a:多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化にかかわる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。現実社会の諸課題にかかわる資料から自立した主体として活動するため必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取りまとめる力を身に着けている。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な課題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠を持って表現している。 bc: よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどにかかわる現実社会の事柄や課題といった現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査・ノートやプリント	定期考査・ノートやプリント・プレゼンテーション・班別調べ学習・	活動の様子の観察・プレゼンテーション・班別調べ学習

3	① よりよい社会の形成に参加する私たち(国際社会分野)	1，国際社会における政治と法 2，国家安全保障と国際連合 3，冷戦終結後の国際社会 4，軍備競争と軍備縮小 5，異なる人種・民族との共存 6，国際平和と日本 7，国際経済のしくみ 8，国際経済体制の変化 9．経済のグローバル化と金融危機 10，地域経済統合と新興国 11，ODA と経済協力	a:主権国家・領域・我が国の安全保障と防衛・国際貢献を含む国際社会における我が国の役割・経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む）などにかかわる 現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し、国際秩序を作り出す国際法の意義と国家の領域が国民の基本的生活を保障するものであり、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割、世界経済がより緊密に結びつき、経済活動がより緊密に結びつき経済活動が世界的規模で自由に行われていること、一国の経済活動や経済政策が他国に影響を与えることなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることを理解している。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な課題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠を持って表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国際社会の諸課題を自己のできる範囲で解決しようとしている。	定期考査・ノートやプリント	定期考査・ノートやプリント・プレゼンテーション・班別調べ学習・	活動の様子の観察・プレゼンテーション・班別調べ学習

	③　持続可能社会のづくりの主体となる私たち	1，持続可能な地域、国家・社会、国際社会づくりのために何が必要かを考える。	a:それぞれが選択した課題について必要な知識を習得している。 それぞれが選択した課題について、必要な情報を収集し、読み取りまとめることができる。 b:それぞれが選択した課題について問いを見いだし、協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、それぞれが選択した課題に対し、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、共に生きる社会を築くという観点からそれぞれが選択した課題を主体的に解決しようとしている	定期考査・ノートやプリント	定期考査・ノートやプリント・プレゼンテーション・班別調べ学習・	活動の様子の観察・プレゼンテーション・班別調べ学習

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度